

## 竹原市総務文教委員会

平成28年9月14日開会

### 会議に付する事件

#### (付託案件)

- 1 議案第42号 工事請負契約の締結について
- 2 議案第45号 平成28年度竹原市一般会計補正予算(第2号)

#### (委員外議員質疑)

- 1 松本議員 (議案第42号)

#### (行政報告)

- 1 予定なし

#### (所管事務調査)

- 1 「ちゅうげい」現地視察の総括
- 2 次回所管事務調査の決定と閉会中の継続審査
  - ・内容
  - ・開催日

#### (その他)

- 1 総務文教委員会行政視察について

(平成28年9月14日)

出席委員

氏 名	出 欠
山 元 経 穂	出 席
川 本 円	出 席
今 田 佳 男	出 席
竹 橋 和 彦	出 席
堀 越 賢 二	出 席
北 元 豊	出 席
脇 本 茂 紀	出 席

委員外議員出席者

氏 名
高 重 洋 介
井 上 美 津 子
大 川 弘 雄

職務のため会議に出席した者は、下記のとおりである

議会事務局長	西 口 広 崇
議会事務局次長	住 田 昭 徳
議事庶務係主事	前 本 憲 男

説明のため会議に出席した者は、下記のとおりである

職 名	氏 名
市 長	吉 田 基
副 市 長	細 羽 則 生
教 育 長	竹 下 昌 憲
総 務 部 長	谷 岡 亨
教 育 次 長	久 重 雅 昭
(傍聴者)	
総 務 課 長	平 田 康 宏
財 政 課 長	沖 本 太

午前9時56分 開議

委員長（山元経穂君） おはようございます。

ただいまの出席委員は7名であります。定足数に達しておりますので、前回に引き続き総務文教委員会を行います。

市長より発言の申し出がありましたので、これを許可致します。

市長。

市長（吉田 基君） おはようございます。

本日は総務文教委員会を開催して頂きまして、まことにありがとうございます。

本委員会におきましては、付託議案につきましては慎重に御審議頂いた上、適切な御決定を賜りますようお願い申し上げ、挨拶と致します。どうぞよろしくお願い致します。

委員長（山元経穂君） それでは、これより一括質疑を行います。

質疑のある方は順次挙手をお願い致します。

ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） 質疑なしと認め、本委員会への付託案件についての質疑を終了致します。

これより順次討論、採決に入ります。

まずは、議案第42号工事請負契約の締結について討論を求めます。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） 討論なしと認め、これをもって討論を終結致します。

これより採決に移ります。

議案第42号工事請負契約の締結について、本案に賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

委員長（山元経穂君） 起立全員と認め、本案は原案のとおり可決されました。

続いて、議案第45号平成28年度竹原市一般会計補正予算（第2号）について討論を求めます。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） 討論なしと認め、これをもって討論を終結致します。

これより採決に移ります。

議案第45号平成28年度竹原市一般会計補正予算（第2号）について、本案に賛成の

方の起立を求めます。

[賛成者起立]

委員長（山元経穂君） 起立全員と認め、本案は原案のとおり可決されました。

当委員会に付託されました議案は全て議了致しました。

この際、お諮り致します。

ただいま議決致しました本委員会への付託議案に対する委員会報告書の作成等につきましては、委員長に御一任願いたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

委員長（山元経穂君） ありがとうございます。

御異議なしと認めます。よって、そのように決しました。

また、あわせて議決事件の字句等の読み間違いにつきましては、後刻委員長において調整しますので御了承願います。

ここで傍聴者及び執行部の方は退席してください。

審査の都合上、暫時休憩致します。

ありがとうございました。

午前 9時58分 休憩

午前10時01分 再開

委員長（山元経穂君） では、休憩を閉じて委員会を再開致します。

先日行われた所管事務調査の件について質疑を致します。

先月「ちゅうげい」の現地視察を致しまして、これより総括を行いたいと思います。

各委員より活発な意見をよろしくお願い致します。

堀越委員。

委員（堀越賢二君） 現地視察ということで、コマツナのハウス栽培の現場というところを視察をさせて頂いて、まず思うことは、これだけ近くにあってもあそこの中にまで足を踏み入れたことは初めてだったので、よくよくどのような活動をされて、どのような成果が出ているかというものは、やっぱり自分の目でその現地に赴いてみないとわからないことがたくさんあるのだなあということで、視察の重要性というものも感じました。

最初に、職員さんの方からの説明もいろいろあったのですが、いろいろな悩みといますか、全部が全部思いどおりに行くというようなところもない部分もありますし、また現

場で見るとそれがよりわかったといいますか、しかしながらそういった方たちの作業、一つ一つの工程がその人の特性に合ったといいますか、その特性に合ったものであるからコマツナといったようなものが選ばれている理由もわかりましたし、もうその作業一つ一つを見ると、その障害者の方の特性といいますか、一つのことに対してすごく、飽きもせずにと言ったらちょっと語弊はあるのですが、繰り返しの作業といったようなものに対しての集中力というか、その高さというものを改めて感じたのと、そういう利用者の方といいますか、作業の方がより作業しやすいような作業環境というのも、いろんな流れの中で今の形があるのだらうなあというのが感じました。当初は、もっと中の道具もろもろについても使いにくかったようなところもあったり、改善された部分の説明も頂いたので、今後、より単価の高いような商材を同じような工程といいますか、作業の方が成果が早いサイクルで見れるような、いい食材が見つければいいなあといったようなところが正直な意見でありましたし、また時間があれば近いので散歩がてらにのぞいてみたいなども思いました。

以上です。

委員長（山元経穂君） ありがとうございます。

ほかに。

竹橋委員。

委員（竹橋和彦君） 私も実際見て、要は再生産、生産から出荷までがうまく出荷できるように、再生産しやすいコマツナとかサニーレタスとか、割と早くできて出荷しやすいものがつくられているのだらうなあと、その中でやっぱり工程に合った適材適所の方が担当されているなあというのが実感でした。根切りとか細かい部分も、そういう方も担当しておられましたけれども、それはそれなりにこの方が適材なのだなあという、うまく配置が考えられていたなあというのが強い印象でした。

もっと、さっき堀越委員も言ったけど、単価の上がるものだったら手待ちになるのかなと、生産から出荷までがあき過ぎるというので、なかなかそういうところに手が出せないのかなあというイメージを持ちました。

以上です。

委員長（山元経穂君） ありがとうございます。

いいです。

協本委員、何かありますか。

委員（脇本茂紀君） 竹原市の福祉施策として、これは中国芸南学園がやっていることなのだけど、その福祉施策としてそのことをどういうふうに見るといえるか、位置づけるかみたいなことがある意味ちょっと不十分なのではないかと思うのです。

もちろん、中国芸南学園がやっていることに介入せえとかなんとかという意味ではなくて、むしろ様々な公共の仕事において、例えばこういう障害者の能力というのを活用していくようなことも、いわゆる施策として考えていく必要があるといえるのか、そういう意味で、今、コマツナとパンでやっておられますけども、市の予算の中で、例えばそういう能力を活用できるようなものを開発していくとかというふうな、施策的に我々も、そういう施策の面からこのことを考えていく必要があるんじゃないかと。

かつて、東京都の町田市に視察に行った時に、あそこはごみの処分場の余熱を利用して温室をつくって、そこで菊の栽培をやっている。それで、菊の栽培というのは同じように年中、葬儀があれば必ず需要があるということもあって、ちょうどその時広島市の市議員さんが行っていたら、広島市さんぐらいの人口規模があったらこれやりんさいという、言われていたけども、竹原市もそこまでいくかどうかわからないし、実際に菊の業者の方もおられる。だけど、そういうふうな工夫といえるか、そういうことをいろんな観点から考えてみる必要は、我々にもあるのではないかということを感じました。

委員長（山元経穂君） ありがとうございます。

副委員長。

副委員長（川本 円君） 挨拶の時にも言わせて頂いたのですが、本来最初は農業振興という頭で「ちゅうげい」さんの方に行かせて頂いて、ちょっと福祉の方の色が濃くなって、向こう様もちょっと戸惑った部分があったかと思えますけども、話を聞きますと、やはり福祉という観点から考えても、余り販路を拡大したら今度は生産が追いつかないとか、単価を上げたいのだけでも、後、後々のことを考えれば広げられないんですというお話もあったように、障害者を含めた福祉という、さっき脇本先生も言われたように、そこらあたりでやはり生産性に合った労働力、またそれに合った単価になるように、行政がどこまで後押しができるかというのが聞いていてやっぱり課題になってくるのではなかろうかと思えます。

また、改めて農業振興につきましては、視察先を変えまして、もうちょっと今度は突っ込んだところを個人的にはやっていきたいと思っておりますので、またその時が来ましたら皆さんの御協力を頂きたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

委員長（山元経穂君）　ありがとうございます。

各委員さんの活発な意見，大変参考になりました，委員長としての総括としては，やはりまず最初に言われた，私も皆さんの意見にすごい共感したのですが，まず堀越委員が言われた現場に行かないとわからないことがあるなあといった，私はもっと小規模なものかと正直思っています，バンブー公園のあそこの上のところにあれだけ広大な施設があるというのには驚かされて，それとあと作業効率，物すごい適材適所という竹橋委員さんからもありましたけど，適材適所で，いい意味でマニュアル化していて，施設内に入ってもちょっと注意が必要なところには全部紙が書いてあったりとか，あとコマツナですか，種の植えた1つずつ発泡スチロールのようなものでとって，簡単に作業をしやすいようにいい意味でマニュアル化していると。ただ，単価の高いものに移るといって，竹橋委員さんからもありましたけど，副委員長からも，お二人からありましたけど，販路とか生産とか，そういう面で難しい面があると。

そこで考えて，ちょっと現地で脇本委員さんともしゃべったのですが，先ほど脇本委員さんも言われたように，公共で力添えできることがあれば，もっと生産拡大，販路などもやっぱりそういう障害者施設ということで多少の優遇があってもいいのかなというような私は思いをしています。あれ，何とかもっと広げられれば，授産施設としての給与ももっと，現在でも芸南学園さんは県平均よりも3,000円から4,000円，1人当たりの給与が上回っているということなのですが，もっとそこへ結びつけられて雇用が生まれてくると，そうすればまたそういう障害者の方もやりがいを持って，いろんなことにもまた取り組むという力が生まれてくるんじゃないかというふうに感じました。総括としてはそういうところですか。ありがとうございます。

この総括で皆さん大体異議はございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君）　ありがとうございます。

それと議長ももし，今度は日程が合えば，北元委員もそういうところへ視察に是非お願い致します。非常にいい施設だったと思います。行かれたことがあれば別かもしれないですけど，ごらんになられたら，こんな規模でやっているとか，マニュアル化されているとか，結構ためになる，農業振興にも福祉事業にも関わってくる大事なところかなあと思っで，今回行かせてもらって非常に良かったと私は感想を持っています。ありがとうございます。



次に、あわせて、議長に対して閉会中の継続審査の申し出を行うことに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） ただ、皆様のお手元にこちらの閉会中継続審査の申出書にありますけど、1、事件で個別案件〇〇〇について、その下に全体案件とあるのですが、一定のものを書いてほしいということで何かあれば、今、例えば副委員長からあった農林水産業の振興とか、何かちょっと個別的なものを1つ、2つ入れられたらという思いがあるので、何か皆さんから御意見があればお願い致します。

どうぞ。

副委員長（川本 円君） また引き続き、農林水産業のことについては、先ほど言いましたように、もうちょっと突っ込んだところを探してみたいと思います。これは入れて頂いて、大変恐縮なのですが、やはり今度義務教育学校ということで、吉名の方が一本化されるということで、教育の方も充実した教育行政を担うために、さらに私どもが勉強すべきだと思うので、その2点ほど入れて頂ければと思うのですが、いかがでしょうか。

委員長（山元経穂君） 今、副委員長から御意見がありました。農林水産、教育あたりを個別事例として書き上げて、議長の方へ提出したいと思いますが、これに御異議ございませんか。

どうぞ、今田委員。

委員（今田佳男君） 防災、このたび視察もあると思うのですが、全体案件で見ていると、防災がないような……。

委員長（山元経穂君） 防災もオーケーです。

委員（今田佳男君） 入れてもらったと思うのですが。

委員長（山元経穂君） はい。今、今田委員からもありましたが、今回視察も行くということで、防災もまた何どき、これからちょっと台風の発生件数も多いみたいなので、今田委員の防災というのでも取り組んでおきたいと思いますが、これについて御異議ございますか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） では、農林水産、教育、防災を中心にとということで、これで議長の方に提出させて頂きたいと思いますので、よろしくお願い致します。

どうぞ。

議会事務局次長（住田昭徳君） 済みません。先ほど今田委員から話があったのですが、防災については多分、本来は全体案件の中に網羅しておくべき項目だったと思います。済みません。

全体案件の書き方というのが、いわゆる年間を通していつでもうちの所管をつつけるという意味で、どの分野の所管も網羅した書き方にしていたというのがあります。ですから、多分ここに今見ますと、確かにおっしゃられたように防災という区分けがないので、ここに本来は防災が入ると。

個別案件のところは、先ほど副委員長から話があった、例えば義務教育学校についてとか、具体的なものが本来あるのかなというイメージなので、例えば農林水産は下に農林水産の振興というのがそもそもあるので、農林水産で例えば何にするかとか、その辺は何かございますでしょうか、書き方として。そういうイメージで……。

副委員長（川本 円君） より具体的なものを出す。

議会事務局次長（住田昭徳君） 思っていた方が、下とかぶらないでいいのかなとは思いますが、そこを諮って頂ければ。ですから、今田委員さんの防災という全般論は、下の言葉につけ加えた方がいいかなと思ったのですが。

委員長（山元経穂君） 地震、水害対策についてぐらいじゃだめです。

議会事務局次長（住田昭徳君） 個別はいいです。下にどっちみち防災という言葉は設けておかないと、全くできなくなるというか、突然のことに対応できなくなる。

委員長（山元経穂君） 防災、地震、水害。教育は。

議会事務局次長（住田昭徳君） 義務教育学校の新設。

それは、義務教育学校という言葉はもう生きているので、義務教育学校についてとか、例えばもう吉名一本とか。

委員長（山元経穂君） 幅広く一貫校出ております。

副委員長（川本 円君） 一貫校は、これからはできません。義務教育学校一本化されますので、ネーミング的には。だから、義務教育学校と書いておけば網羅するのです。

委員長（山元経穂君） 一貫校、義務教育学校。

副委員長（川本 円君） 上下は余り関係ないのですけども……。

委員長（山元経穂君） くくりとして。

副委員長（川本 円君） くくりとしてはね。

委員長（山元経穂君） 農林水産でいうと、林業というのは多分なかなかないと思うの

ですけど。

委員（竹橋和彦君） 林業をやっているところは、おそらく小梨の亀田さん何軒もないと思う。それも松の苗をやっているからなんですけど。

委員長（山元経穂君） 農業振興と水産資源というか、水産振興でいいのかな、水産資源ぐらいでいいのじゃないかと思えますけど。林業をちょっと、ないとは言わないですが。

副委員長（川本 円君） もうちょっと中まで入らないといかんですよ。農業振興だったらだめなので。

委員長（山元経穂君） そこまで入らんといけない。

副委員長（川本 円君） 入らんといけない。

委員（堀越賢二君） 農業の方の先進の作業場というか、先進地を。

委員長（山元経穂君） 農業振興の先進事例の研究。

副委員長（川本 円君） 6次産業。

委員長（山元経穂君） 6次産業をまとめましょうか、それで。

議会事務局次長（住田昭徳君） 6次産業でいくのだったら6次産業化についてとかでもいいですし。

副委員長（川本 円君） あと、担い手とか……。

議会事務局次長（住田昭徳君） 担い手とか、何でもそれは構いません。アクションプランで今までの言葉を引用してもらって。

委員長（山元経穂君） だから、6次産業の視察、研修という言葉にしておけば。

副委員長（川本 円君） 6次産業言うとき全部網羅できると思うので。

委員長（山元経穂君） 実際そうなのですよ。でも、これ大事なことですから。

議会事務局次長（住田昭徳君） それでいいですか、6次産業。

委員長（山元経穂君） はい。

議会事務局次長（住田昭徳君） それは農業に限りますか。

委員長（山元経穂君） 農林水でいいんじゃないですか。水産業とかもいろいろやっているので、補助金とかもありますし。

議会事務局次長（住田昭徳君） じゃあ、農林水産が全般で。

委員長（山元経穂君） はい。

議会事務局次長（住田昭徳君） 全般で6次産業についてという、6次産業化についてにしましょうか。

副委員長（川本 円君） それから、防災は。

議会事務局次長（住田昭徳君） 防災は水害ですか。

委員長（山元経穂君） 水害，地震。

議会事務局次長（住田昭徳君） 地震でも減災でも。

委員（竹橋和彦君） 避難場所。

委員長（山元経穂君） それだったら，避難場所に限定され過ぎるので，減災対策にしておけば何でも。

議会事務局次長（住田昭徳君） じゃあ，水害と減災対策にしましょうか。

委員長（山元経穂君） はい。

議会事務局次長（住田昭徳君） 水害をとりましょうか。減災対策。

委員長（山元経穂君） とりましょう。減災対策，一言であらわせると思うので。

副委員長（川本 円君） ほぼ水害だから。

委員長（山元経穂君） うん。

教育は義務教育……。

議会事務局次長（住田昭徳君） 義務教育学校についてです。

委員長（山元経穂君） ありがとうございます。今田委員さんの指摘も大変助かりました。

今，お話しさせてもらいましたように，農林水産業については6次産業の視察研修，教育については義務教育学校，防災については減災対策についてというような形で議長の方へ閉会中継続審査の申し入れを行いたいと思いますが，これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） ありがとうございます。

次に，総務文教委員会行政視察について御協議致します。

9月末日でよければ，ちょうど議会中でも，皆さん最後まで来られるでしょうから。

9月末日，30日までに各視察地の質問を出して頂くということによろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） はい。よろしくお願い致します。

以上をもって総務文教委員会を閉会致します。

ありがとうございました。

午前11時45分 閉会